

令和5年度事業報告書
令和5年5月1日から法人設立の日まで

法人設立時名称・一般社団法人みんなのピアノ協会

1 事業の成果

当年度は、昨今の格差社会が引き起こす「教育格差」「体験格差」の解消に有用な手法を見出すことに重点を置いた。事業ドメインは当初よりピアノ学習とした。理由は、子供や保護者に人気の習い事であるが、月謝や必要機材が高額であるため、経済的な格差があらわれやすく、対象となる児童数も多いからである。そうした中、安価で効果的なピアノ学習のあり方を検討し、ニーズの把握。実施形態と実現可能性のアセスメントを行う中で、事業化の目処がついた。具体的な成果を以下に挙げる。

- ① 入門～初級レベルの児童にとって、コストと効果性の上で最適なのは、電子キーボードのシェア、ピアノ学習アプリ、学習支援の3点セットであるとの結論。
- ② 企業がテストマーケティングを実施する地域（静岡・広島・山口・福岡県）の児童養護施設に対して、上記①のニーズ調査を行ったところ、約4割から実施もしくは検討したいとの回答を得た。また回答者のうち強い要望があった「松風荘」様を先行実施することで先方と合意した。
- ③ 上記①の供給をする上で必要な外部協力者である学習アプリの製造元2社、ドイツ企業 flowkey GmbH およびイスラエル企業 Joy Tunes から、当事業でのアプリ使用許諾に関する特別許可を得た。また、各地域のピアノ教師とのコネクション作りも行うことができ、実際に前述の「松風荘」様では、地元静岡県沼津市の実績十分なピアノ教師の協力を得ることができた。

2 事業実施に関する事項

(1) 非営利活動に係る事業

(単位：千円)

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び予定人数	支出額
① 安価で効果的なピアノ学習の検討	鍵盤楽器のコスト調査、鍵盤数との関係。ピアノ教師、経験者への聞き取り、書籍などから情報収集。ピアノ学習アプリ調査、検証。	令和5年5月から 令和6年3月まで	千代田区丸の内 3-3-1 新東京ビル内 SAAI 他（以下「執務場所」と呼ぶ）	5人	児童養護施設 600ヶ所	114千円

② 児童養護施設に対するニーズ調査	当学習プログラムに対するニーズ調査。対象は静岡・広島・山口・福岡の40施設	令和6年4月から5月	電話による調査	1名	児童養護施設約600ヶ所	上記①に含まれる
③ 事業形態の検討	外部協力者の選定と合意 先行事業との合意	令和6年4月から5月	リモート会議および執務場所	2名	全国の児童養護施設約600カ所	上記①に含まれる

(2) その他の事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	支出額
法人設立	当事業を実施するための非営利団体「一般社団法人みんなのピアノ協会」設立	令和6年5月	執務場所	1名	200千円